

横浜市福祉サービス第三者評価結果報告書

2017年 3月 3日

株式会社こどもの森 十日市場南こども園 様

〒 131-0032

所在地 東京都墨田区東向島6-37-4-1002

評価機関名 一般社団法人アクティブ ケア アンド サポート

指定評価機関番号 第11号

電話番号 03-6657-4511

代表者氏名 代表理事 小池一步 印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

事業所名	株式会社こどもの森 十日市場南こども園
報告書作成日	2017年 1月25日 (評価に要した期間 4か月)
評価機関	一般社団法人 アクティブ ケア アンド サポート
評価調査員	神機構-623、横浜市-275
評価調査員	神機構-205、横浜市-86
評価調査員	(神機構-、横浜市-)

評価方法

自己評価方法 (実施期間: 2016年9月28日~2016年11月28日)	評価機関が提供した手引きを参照しながら、園長が作成し、合議の上、自己評価をまとめた。
評価調査員による評価方法 (実施期間: 2017年1月16日~2017年1月17日)	事前訪問、提出書類、家族アンケート結果並びに訪問調査の結果に基づいて評価調査員が合議し評価結果をまとめ、評価委員会で決定した。
利用者家族アンケート実施方法 (実施期間: 2016年11月11日~2016年11月28日)	保育園から家族へ調査票を配布してもらい、記入後評価機関へ直接郵送する方式により回収した(61世帯中51世帯、回収率84%)。
利用者本人調査方法 (実施期間: 2017年1月16日~2017年1月17日)	訪問調査において、評価調査員が分担してこどもの遊びや生活の様子を観察し、必要に応じ職員や子どもに質問した。

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

本報告書のうち、

- 横浜市は定める部分を公表することに同意します。
- 別添えの理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添えの理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名

全体の評価講評

特に良いと思われる点
<p>年齢や発達に応じたコーナー保育を取り入れ、落ち着いて遊び込める環境を作っています</p> <p>コーナー保育を取り入れ、落ち着いて遊び込める環境を作っています。オープン棚におもちゃをセットし、すぐに取り出せるようにしています。0、1、2歳児クラスの部屋には、手先のコーナーがあり、ひも通し、ひっぱり遊び、ボタンはめ遊びなど、遊びながら発達を促す手作りおもちゃを用意しています。3歳児以上は、はさみやのりの使い方に取り組み、制作コーナーで自由に遊ぶことができます。絵本コーナーには、ソファを備え、くつろいで絵本を読むことができます。ままごとコーナー、ブロックコーナー、ぬりえコーナー、ゲームコーナーでは、目的をもって集中して遊ぶことができます。登園後や夕方に自由遊びの時間を設け、自分の好きなことをして遊び込める時間を十分確保しています。</p>
<p>献立や調理を工夫し、子どもは喜んでおいしく食べています</p> <p>栄養士と職員がコミュニケーションをとって、子どもが喜んでおいしく食べられるように工夫しています。栄養士は、毎週子どもの食事の様子を見る機会を設け、また、調理担当は、片付けを手伝う子どもから直接意見を聞いたりしています。給食日誌に喫食状況や残食量などを記録し、毎月給食会議(園長・栄養士・保育担当1～2人で構成)において、新しいメニューに対する反応や残食について話し合い、献立や調理に反映させています。今回の利用者家族調査の結果、問4-7「給食献立内容について」の保護者の満足度は、「満足」が78%、「どちらかといえば満足」が22%で、合わせて100%でした。この結果は、訪問調査の日、子どもと一緒に給食を食べ、子どもがおいしそうに食べる様子を見て、うなずきました。</p>
<p>異年齢の子どもでグループを形成し、縦割り保育を実践して、効果をあげています</p> <p>「サンサンデー」と名付けた縦割り保育を月の3のつく日に実践しています。この時は、2～5歳児で縦割りのグループを形成し、保育を行います。グループ内の縦のつながりを大切にし、年長者を敬う気持ちの醸成やリーダーとしての年長者の自覚を育むことを狙いとしています。運動会などの行事において、縦割りのグループで行動する種目が設け、効果を上げています。</p>
さらなる改善が望まれる点
<p>連携してトイレトレーニングを進めていると実感できるような対応が期待されています</p> <p>2歳児クラスは、保護者に説明して、トレーニングパンツを使用しています。排尿間隔に個人差があることを考慮し、子どもの状態に合わせて声をかけるようにしています。トレーニング表を作り、子ども一人一人の排泄間隔を把握し、活動の節目にトイレに誘っています。おもらしたときは、子どもの羞恥心に配慮して速やかに対応します。トイレで排泄できたことや、いつどのような場面でおもらしをしたか、排便の時の様子などを連絡帳に記したり、送迎時に保護者に直接伝えています。今回の利用者家族調査の結果から、保護者は共通認識のもとに連携してトイレトレーニングに取り組むことを期待していることがうかがえました。</p>
<p>外部からの侵入について、保護者の不安を払しょくする対策が期待されます</p> <p>玄関の扉には、暗証番号式のカギを取り付けています。暗証番号は保護者と職員のみ伝え、定期的に変更しています。保護者以外の来園者には、インターホンで対応し、声、顔や姿を確認の上、開錠しています。不審者侵入対応マニュアルに沿って、年3回訓練しています。不審者侵入時の通報体制を掲示し、園長または電話機に近い職員が通報することを決めています。不審者情報は、緑区こども家庭支援課や本部から入手します。近所で発見された時は、保護者にメール連絡網で送信し、併せて玄関に掲示します。今回の利用者家族調査の結果、問5-3「外部からの不審者侵入を防ぐ対策について」、不安を感じている複数の記述がありました。保護者の不安を払しょくするために、さらなる対策の検討が期待されます。</p>
<p>研修結果の活用について、その有効性を評価する必要がないか、検討が期待されます</p> <p>運営会社(以下、本部という)が立てた研修計画に沿って実施される研修コースを選択し、参加しています。研修報告書の様式を改定し、受講者が報告した園内研修について、それを聞いた職員が、自らの今後の対応や取り組み方を記載しています。受講者が研修の成果を保育園内に伝え、保育園全体のレベルアップにつながることを期待する、こうした研修結果の活用法は評価されます。今後、こうした取り組みの有効性を評価する必要がないか、検討が期待されます。</p>

横浜市福祉サービス第三者評価 分類別結果

評価領域 I 利用者(子ども本人)の尊重

評価分類 I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成

評価項目 I-1-1(1)

保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したのになっており、全職員が理解し、実践しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したのとなっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員が基本方針を理解している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスの実施内容は、保育の基本方針に沿っている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目 I-1-1(2)

保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。


判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育課程は子どもの最善の利益を第一義にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育の基本方針や家庭の状況、地域の実態、周囲の環境を考慮して作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育課程の作成にあたっては、全職員が関わっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育課程は、入園時や年度当初には必ず保護者に説明している。また、改定した時には随時保護者に説明している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-1-1(3)

日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育計画に基づき、年齢ごとに指導計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 理解できる子どもには、必要なことをきちんと説明し、納得できることを大切にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 態度・表情などから子どもの意思を汲み取り、言語化できる子どもからは意見・要望を聞いている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの意見・意思を指導計画の見直しに活かし、子どもの自主性や主体性を育て、発揮できるような指導計画となっており、計画には柔軟性を持たせている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類 I-1 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)	評価
<p>保育園の理念に自分の子どもを入りたい園を掲げ、子どもを尊重したものとしています</p> <p>子育てしやすい園に変えていくことを保育理念とし、「快適な環境で十分な発達を促す。子どもを理解し、愛しさに根ざした保育。手作りのあたたかかい園」という、子どもを尊重した保育方針を立てています。保育目標に、「見て、聞いて、やってみよう。支え合い、見守り合い、育ち合おう。」を掲げ、子どもがやりたいと思えるまで見守る姿勢、子どもだけでなく、職員、保護者も育ち合う姿勢を大切にしています。「生きる力の基礎を作る。」と、太い根っこを地面に生やす支援を行うことを目指しています。</p>	
<p>子どもを理解し、快適な環境で十分な発達を促すよう保育課程を作成しています</p> <p>保育課程は、本部が作成したものをもとに、保育理念や基本方針に基づいて作成しています。保育目標の、見守り合い育ち合うこと、生きる力の基礎を作ることを大切に考えて作成しています。保護者をサポートすることで子育て環境を整え、安心・安全な環境で子どもの発達を促すことが一番の利益と考え、環境整備を大切にしています。月齢の低い子どもの人数が多くなることもあり、毎年3月の全体ミーティングで見直しています。改定した時は、懇談会や手紙によって保護者に知らせています。</p>	
<p>子どもの態度や表情などから希望や意思を汲み取り、指導計画に反映させるようにしています</p> <p>保育課程に基づいて、年齢別年間指導計画・月間指導計画・週案・日案を作成しています。0・1・2歳児には、個別指導計画を作成しています。言葉だけでなく図鑑や実物を見せて、子どもが理解しやすいように工夫しています。活動内容について、子どもの状態や希望を聞いて、変更します。散歩先や遊びのルール、発表会の役決めなども、子どもの意見を取り入れました。子どもの表情や仕草について注意を払い、特にトイレトレーニング中の子どもには気を配り、言葉かけをしています。</p>	

評価分類 I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施

評価項目 I-2-(1)

入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に面接している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの様子をよく観察している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 入園までの生育歴や家庭での状況を把握している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 面接時に把握された記録は、日々の保育に活かされている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-2-(2)

新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 短縮保育(ならし保育)が必要な場合は保護者への説明を十分行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 0、1歳の新入園児に対しては個別に主担当保育者が決まっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが心理的抛り所とする物の持ち込みができる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの生活の連続性の視点から、保護者へのていねいな連絡をノートで行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 在園児への配慮がなされている。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-2-(3)

子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの発達や状況に応じて指導計画の作成・評価・見直しを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 評価、改訂にあたっては、複数の職員が参画して作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 評価、改訂にあたっては、保護者の意向も反映している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類 I-2 評価の理由(コメント)

評価
<p>入園前に面談を行い、子どもの状況を把握し、保育に生かしています</p> <p>入園説明会で、担当予定職員が保護者と個別面談を行っています。面談では、生育歴や家庭での状況、児童票、児童健康台帳、緊急カード、離乳食などについて、記入された書類を確認しています。特に、乳児は、睡眠や食事の状況を確認します。新たに聞き取った内容も記録します。子どもと一緒に来てもらい、保護者と関わる様子や遊ぶ様子を観察し、記録します。面談で得られた情報は、職員全員に伝え、保育に反映させています。1歳児クラスでも、離乳食を食べている子どもは0歳児と一緒に食事をとったり、まだ歩けない子どもは0歳児クラスで遊ぶなど、発達に合わせた保育に努めています。</p>
<p>慣らし保育の必要性を伝え、状況に合わせて対応しています</p> <p>入園説明会で慣らし保育に関する資料を配付しています。環境変化による子どもへの負担を軽減するためにも、慣らし保育が必要であることを説明しています。0・1歳児クラスの新入園児は、担当職員を決め、二人が同日に休むことがないように勤務シフトを調整しています。家庭からの持ち込みは基本的には認めていませんが、その子どもにとって安心できるものであれば、状況を見て判断し、受け入れています。0・1・2歳児は、毎日、連絡帳に体温・睡眠・排泄・食事・保育園でのエピソードなどを記入するほか、直接伝えることもあります。</p>
<p>全職員が全園児と関われるようにして子どもの状況の変化を把握しています</p> <p>年齢別に、年間指導計画、月案、週案を作成し、子どもの発達や状況の変化に応じて見直しを行っています。全職員が子どもの状況を把握できるように、朝や夕方の自由遊びの時間は、勤務シフトにより乳児番、幼児番に分かれ、すべての子どもと関われるように工夫しています。昼ミーティングや全体ミーティングでも、子どもの様子を共有するとともに、配慮点やその子どもに合った保育を振り返り、話し合いをして、保育計画に反映するように心がけています。個人面談や送迎時に、保護者とよく話し合い、保護者の意向も踏まえ、指導計画の作成・評価・見直しを行っています。</p>



評価分類 I-3 快適な施設環境の確保

評価項目 I-3-1)

子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育園の屋内・外とも、常に清潔に保たれている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 通風・換気等が確保され、気になる臭いを取り除く工夫をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 施設内の温・湿度の管理が日々適切に行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 陽光を十分取り入れるよう配慮している。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-3-2)




沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 沐浴設備がある(ただし、0歳児保育実施施設)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 温水シャワーの設備がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 沐浴・温水シャワー等の設備の管理や清掃が十分に行われている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目 I-3-3)

子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 低年齢児には、小集団保育が行われるよう、保育室の使い方を工夫している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食べる・寝るなどの機能別の空間を確保している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 屋内に異年齢児間の交流の場がある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類 I-3 評価の理由(コメント)		評価
子どもが快適に過ごせるよう清潔や安全など環境に配慮しています		  
勤務シフト別業務チェック表に、衛生管理や安全チェックを行う箇所を細かく記載し、担当者を決めています。業務を終了したらチェックをし、漏れがないようにして、清潔や安全を保っています。担当者だけでなく、気づいた人がすぐ清掃できるように各部屋に清掃用具を備え、コードレスの掃除機を使用しています。道路に面した側は、広く、プライバシーを守るためすりガラスの窓で、午睡時以外はカーテンを開き、外光を取り入れています。各部屋の換気扇を常に回し、午睡が終わった時に窓を開け空気を入れ替えています。声の大きさにも配慮しています。訪問調査の日、朝夕の音楽や午睡時のオルゴールは心地よく感じられました。		
沐浴設備や温水シャワーで、体を清潔にし気持ちよく生活できるようにしています		
沐浴設備は、子ども用トイレに設置しています。夏、汗をかいたときやプールに入れないとき、下痢で汚れたときやオムツを交換する時に使用しています。シャワーヘッドは、沐浴設備に付いています。沐浴設備の清掃は、使用の都度と毎日遅番が行っています。チェックシートを使用し、清掃漏れがないかを確認しています。温水シャワーを使用するとき、必ず温度確認を行っています。温度調節のやり方を、シャワーの傍に貼って、注意を促しています。		
サークルやローボードを用いて発達状況に応じた環境設定をしています		
保育園に慣れ、基本的な生活習慣が身につくまで、発達状況に応じて援助できるように低月齢児と高月齢児に分けて保育しています。室内はサークルやローボードを用いて環境設定を考慮したり、散歩なども別々に出かけています。各クラスとも食事と午睡は同じ保育室を使用しますが、空間を分け、衛生面と併せて、子どものペースで食べることができるように配慮しています。異年齢児間の交流に、フリースペースを利用します。朝の会を行ったり、また、雨の日は平均台、フープ、跳び箱などを並べ、サーキット遊びをしたりしています。		

評価分類 I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力

評価項目 I-4-(1)



子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 0~1歳児については、個別指導計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 幼児についても、特別な課題がある場合には、個別指導計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別の目標・計画は定期的(月1回を目安)に見直すのみでなく、子どもの発達状況に合わせ、柔軟に変更・見直しを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別指導計画の作成・見直しにおいて、重要部分を保護者に説明し、同意を得ている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目 I-4-(2)

子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか

判断基準		評価
A	Bに該当した上で、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもや家庭の個別の状況・要望を決められた書式に記録している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 入園後の子どもの成長発達記録がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの記録内容は全職員が共有できるしくみになっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な申し送り事項が記録され、進級時等に伝達されている。	
B	保育所児童保育要録を小学校に送付している。その上で、Aの中で2つ以上に該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する。または、該当しない。	

評価分類 I-4 評価の理由(コメント)		評価
子どもの発達状況や保護者の考えを踏まえて個別指導計画を作成しています		
0・1・2歳児は、毎月、各クラス担任が個別指導計画を作成しています。特に配慮が必要な子どもは、担当職員が指導計画を作成し、園長が確認しています。個別の目標及び計画は、発達状況に合わせてその都度見直しを行っています。計画の作成、見直しに当たり、保護者と送迎時や個別面談時に話し合い、どのように対応していくか保護者の考えを踏まえています。		
子ども一人一人の個別ファイルを用意し、職員はいつでも確認し保育に生かしています		
0・1・2歳児は3か月ごと、3・4・5歳児は半年ごとに、子どもの生活の様子や成長発達の経過をまとめ個人別経過記録を作成しています。子ども一人一人に個別ファイルを用意し、経過記録や健康台帳などを綴じ、事務室の鍵付き書庫に保管しています。職員はいつでも閲覧できるようにしています。進級時などクラス担任が交替するときは、引継ぎノートを作成し、新しい担任に引き継いでいます。小学校に入学する子どもの保育所児童保育要録を作成し、進学する小学校へ郵送、または、直接届けています。		

評価分類 I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み

評価項目 I-5-(1)

特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/>	Bに該当した上で、次の全てに該当する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	個別のケースについて会議で話し合わせ、記録がある。
	<input checked="" type="checkbox"/>	最新の情報を職員間で学習し、保育に活かしている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	共有する情報は記録され、いつでも確認できるようファイリングされている。
B	<input checked="" type="checkbox"/>	特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れる姿勢がある。
C		上記のいずれにも該当しない。

評価項目 I-5-(2)

障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/>	次の全てに該当する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	バリアフリーなど、障害児保育のための環境整備に配慮している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	保護者の同意を得て、医療機関や専門機関から助言や情報が得られる体制をとっている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	障害の特性を考慮した個別指導計画が立てられている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	障害児保育について全職員で学習し、話し合える体制ができている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	障害児と障害のない子どもとの関わりに配慮をしている。
B		Aの中でいずれか3つは該当する。
C		Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。

評価項目 I-5-(3)

虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/>	次の全てに該当する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	虐待の定義が全職員に周知されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	虐待が明白になった場合に、関係機関に迅速に通告・相談する体制を整えている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	疑わしい場合や見守りが必要な場合は関係機関との連携をとっている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	家庭支援の必要な保護者を援助し、虐待の予防に配慮している。
B		Aの中でいずれか2つは該当する。
C		Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。

評価項目 I-5-(4)




アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/>	次の全てに該当する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	子どものかかりつけ医の指示を受け、適切な対応を行っている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	全職員にアレルギー疾患についての必要な知識や情報が周知されている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	食物アレルギーにおいては、保護者との連携を密にし、 除去食 を提供している。
	<input checked="" type="checkbox"/>	除去食 を提供する場合は、誤食事故を防止するため専用トレイや専用食器、名札等を使用している。
B		Aの中でいずれか2つは該当する。
C		Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。

評価項目 I-5-(5)

外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 文化(言語・表現・食事)や生活習慣、考え方の違いを認め尊重している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 文化や生活習慣の違いを他の子どもたちが理解できるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な場合の対応策がある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類 I-5 評価の理由(コメント)	評価
特に配慮が必要な子どもについて研修で学んだことを職員が共有し、保育に活かすよう努めています	  
「虐待を受けた子どものケアについて」、「気になる子の保育研修」、「食物アレルギー基礎知識とその対応—最新の情報」など、横浜市主催の研修に参加しています。参加した職員は、全体ミーティングや昼ミーティングで報告し、他の職員と共有しています。研修報告書を必ず提出し、全職員に回覧しています。研修報告書には、学習したことから具体的に取り組むことを記載し、研修を受けただけで終わらないように工夫しています。特に配慮が必要な子どもを受け入れ、適切な対応や配慮ができるように努めています。	
虐待の発見とその後の対応や保護者対応を学び、適切に対応できるようにしています	
外部の研修に参加したり、虐待防止マニュアルを作成し、勉強会を開いています。横浜市の虐待防止ハンドブックも、職員全員に周知しています。関係機関に直ぐ通報できるように電話機の傍に電話番号を表示しています。毎朝視診を行い、前日になかった傷や痣などに気づいた場合、保護者にたずねるとともに、保護者の様子も視るようにしています。疑わしいときは記録に残し、昼ミーティングで報告します。本部に報告するとともに、関係機関へ通報・相談を行います。普段から、保護者とコミュニケーションを密にするように努めています。	
食物アレルギーのある子どもや文化の異なる子どもに対し、適切な対応に努めています	
食物アレルギーのある子どもには、主治医に「保育所におけるアレルギー疾患生活管理指導表」を記入してもらい、それに沿って対応しています。食物アレルギーに関する研修に参加した職員は、ミーティングで報告し、研修報告書を職員全員が閲覧しています。新しい食材を使う場合、保護者にその食材を見せて一緒に確認します。定期的に面談も行っています。除去食の提供に当たり、①専用の食器及びトレイを使用し、②調理室から運び出すとき、③保育室で子どもに配膳するとき、その都度子どもの名前と除去食の内容を声に出し、複数の職員で確認しています。	

評価分類 I-6 苦情解決体制

評価項目 I-6-(1)




保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。

判断基準		評価
	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
A	<input checked="" type="checkbox"/> 第三者委員に、直接苦情を申し立てることができる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して、意見箱・懇談会・アンケート等で進んで要望や苦情を聞いている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 自分で意見を表明するのが困難な園児や保護者に対して具体的な配慮がなされている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 権利擁護機関など他機関の苦情解決窓口を紹介している。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 要望・苦情を受け付ける担当者が決まっており、事前に保護者に説明されている。	
C	要望・苦情の受付窓口が明確にされていないなど、取り組みが不十分である。	

評価項目 I-6-(2)

要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。

判断基準		評価
	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
A	<input checked="" type="checkbox"/> 第三者委員を交えて対応する仕組みができている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園単独で解決困難な場合には、外部の権利擁護機関や相談機関との連携体制がつけられている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要望や苦情の解決策が会議等を通じて職員に理解・周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 過去の苦情・トラブルや要望のデータを蓄積・整理し、解決に活かしている。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 要望や苦情を受け付け対応するためのマニュアル等文書化されたものが整備されている。	
C	マニュアル等文書化されたものが整備されておらず取り組みが不十分である。	

評価分類 I-6 評価の理由(コメント)		評価
保護者からの相談、要望や苦情に速やかに対応する仕組みを周知しています		  
苦情解決制度のフロー図を作成し、苦情受付窓口や責任者、第三者委員の名前と電話番号を明記しています。また、権利擁護機関の一覧を事務室に掲示し、速やかに報告。連絡・相談が行えるようにしています。意見箱や本部宛の「お客様ご意見カード」を玄関に常備しています。また、横浜市福祉調整委員会に申し出ることができることを伝えています。行事後のアンケートによって、保護者の意見や要望を聞くように努めています。		
苦情や要望に迅速に対応する仕組みを整えています		
苦情解決に第三者委員を交えて対応する仕組みを整えています。苦情などには、保育園単独で、または本部と一緒に解決に当たります。保育園で対応する場合は、対応策を職員全員で話し合って実施し、苦情簿に記録しています。苦情マニュアルを整備し、全職員に周知しています。行事後のアンケートに寄せられた意見や提案を次回の企画に生かすなど活用しています。		

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類Ⅱ-1 保育内容

[遊び]

評価項目Ⅱ-1-1(1)

子どもが主体的に活動できる環境構成(おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど)ができているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもがおもちゃや教材等を自分で取り出して遊べるようになっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 年齢や発達にふさわしい環境構成に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもがそれぞれ落ち着いて遊べる環境を確保している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自分の好きなこととして遊び始める時間が十分に確保されている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-1(2)

遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの自由な発想を受け止め、それを集団活動に取り入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもがそれぞれ自由にごっこ遊びをしたり、落ち着いて一人で遊んだりしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉活動は、みんなで一緒に遊ぶ楽しさとともに、友だち関係やルールを守る等の社会性を重視して、年齢に応じて取り入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由遊びの中で一人ひとりが興味・関心を持って遊べるよう、保育士が援助している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-1(3)

動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 栽培や飼育を通して得られる体験を、保育活動にフィードバックしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもたちが散歩等で、日常的に地域の大人や子どもたちと挨拶・会話を交わしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園外活動で地域を知り、自然に触れる機会を積極的に設けている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園外活動で地域を知り、自然に触れる機会を積極的に設けている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-1-1(4)

子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの年齢や発達状況にあわせて自由に表現できるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自発的に表現するよう様々な素材を用意するなど、自由に使えるよう配慮されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自由に歌ったり、絵を描いたりしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自由に歌ったり、絵を描いたりしている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-1-1(5)




遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子ども同士のけんか等については、危険のないよう見守りながら、子ども同士で解決ができるよう援助している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 異年齢の子ども同士が関わりを持てるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員は、常に公平で温かい態度・言葉遣い等で子どもに接し、信頼関係を築いている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員は、常に公平で温かい態度・言葉遣い等で子どもに接し、信頼関係を築いている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-1-1(6)

積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 散歩や屋外活動などを積極的に取り入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 散歩や屋外活動などを行う際には、紫外線対策やアレルギーへの対処を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 発達段階に応じて、運動能力を高められるような遊びの環境を意識してつくっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの既往歴や健康状態に合わせた遊びを工夫している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-1(1) [遊び] 評価の理由(コメント)	評価
<p>年齢や発達に合ったコーナー保育を取り入れ、落ち着いて遊びこめる環境を作っています</p> <p>コーナー保育を取り入れ、落ち着いて遊びこめる環境を作っています。オープン棚におもちゃをセットし、直ぐに取り出せるようにしています。0~2歳児クラスの部屋には、手先のコーナーがあり、ひも通し、ひっぱり遊び、ボタンはめ遊びなど、遊びながら発達を促す手作りおもちゃを用意しています。3歳児以上は、はさみやのりの使い方を指導し、製作コーナーで自由に遊ぶことができます。絵本コーナーには、ソファを置き、くつろいで絵本を読むことができます。また、ままごとコーナー、パズルコーナー、ぬりえコーナー、ゲームコーナーで、目的をもって集中して遊ぶことができます。登園後や夕方に、自由に遊ぶ時間を設けています。</p>	
評価項目Ⅱ-1-1(2) [遊び] 評価の理由(コメント)	
<p>子どもの自由な発想を大切に遊びを展開しています</p> <p>散歩で拾ってきたどんぐりに絵を描きました。どんぐりがあまりにも大きかったので、絵を描こうということになりました。自由な発想を大切に、制作やままごとなどに取り組みます。それぞれ好きな遊びに集中しています。行事の一つとして、保育園全体でごっこ遊びを行います。本年度は、2歳児クラスに電車に興味を持つ子どもが多いことから電車ごっこを行いました。通年で、マラソンを行っています。追い越さず身体を温めながら長い時間走ることを目標に、ルールを守って安全に楽しく走っています。遊びを見つけれない子どもに、職員が声かけをして、遊びに加わっていく様子が見られました。</p>	
評価項目Ⅱ-1-1(3) [遊び] 評価の理由(コメント)	
<p>野菜の栽培や蚕の飼育を通して、生長の様子を観察する喜びや好奇心を育てています</p> <p>5歳児クラスは、何を栽培するかを話し合い、種を買いに行きました。現在、ほうれん草、紅白はつか大根を園庭のプランターで育てています。収穫した野菜を調理して皆で食べるのを楽しみにしています。蚕を育て、わからないことがあると図鑑で調べています。蚕の一生を知り、糸や繭玉を使った制作など飼育を通して様々なことを経験しています。周辺に公園が多いことから散歩の回数を増やし、折々の自然に触れています。散歩の途中で、行き交う地域の人たちと挨拶を交わしています。</p>	 
評価項目Ⅱ-1-1(4) [遊び] 評価の理由(コメント)	
<p>歌、絵や制作で自分の気持ちを自由に表現できる環境を設定しています</p> <p>朝の活動や朝の会で季節の歌をうたったり、リズム体操や英語を聞いて体を動かしています。乳児も音楽を聴き、身体を揺らして楽しんでます。幼児クラスには制作コーナーを用意し、絵を描く紙、チョキチョキ紙(職員が制作で使った紙の残り)、ハサミ、のり、クレヨンなどを備えて、自由に制作し、表現しています。パズルやブロックコーナーで、子どもは集中して遊び、自由に表現できるようにしています。音楽を聴きたい時や歌いたい時は、職員に言ってみんなで集まり、聴いたり歌ったりして表現しています。</p>	
評価項目Ⅱ-1-1(5) [遊び] 評価の理由(コメント)	
<p>「サンサンデー」の日は、異年齢の子どもが兄弟姉妹のように過ごしています</p> <p>子ども同士のけんかは、意識的に見守り、できるだけ子ども同士で解決するように配慮しています。子ども同士でうまくいかない時に、間に入り、援助しています。言葉で十分に伝えられない時は、職員がその子どもの気持ちを代弁しています。3のつく日に、縦割り保育を行い「サンサンデー」と名付けています。この日は異年齢でグループを作り、食事の援助、寝かしつけ、着替えの手伝いなど世話をするペアを決め、兄弟姉妹のように過ごします。異年齢で散歩したり、交流する場も作っています。職員は、子どもと同じ目線で話し、やさしい言葉かけ、肯定的な言葉かけをするように心がけています。</p>	
評価項目Ⅱ-1-1(6) [遊び] 評価の理由(コメント)	
<p>晴れた日は、戸外で遊び、健康増進、体力増進を図っています</p> <p>朝夕の合同保育の時間、晴れた日は園庭で遊んでいます。周辺に公園が沢山あり、天気の良い日はほぼ散歩に出かけています。戸外へ出かける際は、日除けつき帽子をかぶるなど、紫外線対策を講じています。職員が、体操指導員の資格を取り、年齢や発達に応じた体操やマット運動で基礎体力を培っています。0・1歳児は、室内の長い廊下をはいはいしたり、マットを使って山を作り、上り下りしています。喘息や熱性けいれんを持つ子どもは、保護者と相談しながら、注意深く観察し、状況によっては外へ出かかず園内で過ごしています。</p>	

[生活]

評価項目Ⅱ-1-(7)

食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士が、子どもの負担になるほどに残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったりしていない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 乳児の授乳にあたっては、ほしがる時に、抱っこして声をかけながら与えるようにしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 授乳する時や離乳食を食べさせる時は、子どものペースを尊重している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自分から食べようとする意欲や行動を大切にしながら、適切な言葉かけや援助をしている。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。対象乳児がいない場合は2つは該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。対象乳児がいない場合は、全くおこなっていない。	

評価項目Ⅱ-1-(8)

食事の場、食材、食器等に配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある献立や食欲がわくような盛りつけなどの食事作りに配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食事の場としての雰囲気づくりに配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食材や食器の安全性に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの成長・発達や用途に即した食器を使用している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-(9)

子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの好き嫌いを把握し、盛り付けや調理方法を工夫している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士や調理担当者が、子どもたちの食事の様子を見る機会を設けている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 残食を調査記録し、献立・調理の工夫に反映させている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-1-(10)

子どもの食生活について、家庭と連携しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 献立表を作成し、事前に配布している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 献立作成のポイントを明記した情報提供を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期的にレシピを提示し、保護者に園で提供する食事に対する関心を促している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者が試食できる機会等を設けて、栄養・味付け・食べ方(噛み方)等、園で配慮していることを知らせている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-(11)




午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 眠れない子ども、眠くない子どもには午睡を強要せず、静かに過ごさせるなど柔軟な対応をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 安心して心地よい眠りにつけるよう、午睡・休息の場を工夫している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児突然死症候群に対する対策を行っている	
	<input checked="" type="checkbox"/> 年長児には適当な時期から午睡を一斉活動としていない。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-(12)

排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの排泄のリズムをとらえ、個人差を尊重している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> トイレトレーニングは一人ひとりの発達状況に応じて個別に対応している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園での排泄状況を保護者に伝え連携を密にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> おもらしをした子どもを激しく叱ったり、心を傷つけるような対応をしてはならないことを、全職員が認識している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-(7) [生活] 評価の理由(コメント)	評価
<p>子どもが主体的に様々な体験をしながら、食事を楽しんでいます</p> <p>3・4・5歳児クラスは、食事にバイキング形式を取り入れています。一人一枚トレイを持ち、自分が食べられる量を盛っています。苦手な物は無理強いせず、優しく声をかけて一口だけでも食べられたら、「食べられたね」と、ほめる声をかけています。授乳、離乳食は月齢にとらわれず、保護者と相談しながら子どもに合ったペースで進めています。栄養士が食育の話をし、子どもが食に興味を持てるように工夫しています。年齢に合わせ、とうもろこしの皮むきやそら豆の皮むきなど実際にあまり目にしたり、触ったりしたことがないことを体験させています。当番の子どもが、配膳の手伝いをしています。片づけも、年齢に応じて子ども自身が行っています。</p>	
評価項目Ⅱ-1-(8) [生活] 評価の理由(コメント)	
<p>安全な食材、安全な食器を使い、わくわく感のある食事を用意しています</p> <p>旬の食材を使用しています。七夕・クリスマスなどの行事食は、ごはんを星の型抜きにしたり、ミートローフをつりに見立てたりして、特別メニューを用意し、子どもが喜んでいます。お誕生日会はお子様ランチ風の盛り付けをして、おやつは必ずケーキです。お誕生日会で、皆でケーキを食べるといふ楽しさと喜びを感じています。クリスマス会の日には、クリスマスの音楽を流しながら食事をします。食材は本部が横浜市などの情報をもとに、安全な産地の野菜を使用しています。食器は、磁器製のものを使用しています。</p>	
評価項目Ⅱ-1-(9) [生活] 評価の理由(コメント)	
<p>献立の作成や調理が工夫され、子どもは喜んでおいしく食べています</p> <p>栄養士と職員が話し合い、子どもが喜んでおいしく食べられるように工夫しています。調理職員は片付けを手伝う子どもから直接意見を聞いたり、栄養士は子どもの食事の様子を観察しています。給食日誌に、喫食状況・残食量などを記録し、毎月園長、栄養士、職員(1~2人)が出席して給食会議を開き、新メニューに対する子どもの反応や残食について話し合い、献立や調理に反映させています。今回の利用者家族調査の結果、問4-7「給食献立内容について」は、「満足」78%、「どちらかといえば満足」22%で、合計100%でした。</p>	
評価項目Ⅱ-1-(10) [生活] 評価の理由(コメント)	
<p>献立や食に関する情報などを提供し、家庭と連携しています</p> <p>毎月25日、翌月の献立表(離乳食の子どもには、離乳食献立表)を配付しています。給食日より「ぱくぱくだより」を毎月発行し、旬の食材や栄養、郷土料理、クッキングで作ったメニューのレシピなどの情報を提供しています。玄関に、当日の食事のサンプルと献立表を展示し、保護者と子どもが「今日、おいしかった。」「野菜を全部食べたよ。」など語り合う姿が見られます。子どもに人気で、簡単なメニューのレシピを自由に持ち帰れるようにしています。誕生会や保育参加など、保護者が試食できる機会を設けて、保護者の感想や意見を聞き、活用しています。</p>	 
評価項目Ⅱ-1-(11) [生活] 評価の理由(コメント)	
<p>午睡は子どもの状況により柔軟に対応しています</p> <p>眠れない子どもや眠くない子どもは、保護者と相談し、静かに遊べるスペースで過ごしています。心地よい眠りにつけるように静かなオルゴール音を流しています。0・1歳児は、乳幼児突然死症候群(SIDS)対策として、仰向けに寝るように姿勢を整え、5分おきに身体をさわって呼吸を確認し、チェック表に記録しています。0歳児には、乳幼児用体動センサを導入しています。年長児は10月頃から午睡をなくし、自由遊び、クッキング、園庭遊び、散歩など職員との思い出を形作る時間に当てています。午睡をなくす際、保護者の意見を聞き、個々に対応しています。12月頃から、小学校の学習に備えて、ワークブックを用意し、文字や数の勉強を楽しみながら興味を持ってできるように援助しています。</p>	
評価項目Ⅱ-1-(12) [生活] 評価の理由(コメント)	
<p>トイレトレーニングについて、連携して進めると保護者に実感される対応が期待されます</p> <p>2歳児クラスになると、保護者に説明し、トレーニングパンツを使用しています。排尿間隔は個人差があり、子どもの合わせて声をかけるようにしています。トレーニング表を作り、子ども一人一人の排泄間隔を把握し、活動の節目にトイレに誘っています。おもらしたときは速やかに対応し、子どもの心を傷つけないように配慮しています。トイレで排泄できたことやいつどのような場面でおもらしをしたか、排便の時の様子などを連絡帳や送迎時に保護者に伝えています。今回の利用者家族調査では、保護者から色々な意見がありました。保護者の理解を得ながら連携して進めることが期待されます。</p>	

評価分類Ⅱ-2 健康管理・衛生管理・安全管理

[健康管理]

評価項目Ⅱ-2-(1)

子どもの健康管理は、適切に実施されているか。

判断基準		評価
次の全てに該当する。		A
<input checked="" type="checkbox"/>	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの健康状態を把握している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	既往症について常に保護者から情報を得られるように努め、対応を関係する職員に周知している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	必要に応じて園での子どもの健康状態を保護者に伝え、降園後の対応について話し合っている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	食後の歯磨き指導を行っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-2-(2)

健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。




判断基準		評価
次の全てに該当する。		A
<input checked="" type="checkbox"/>	一人ひとりの健康診断・歯科健診の記録がある。	
<input checked="" type="checkbox"/>	健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝え、連携を密にしている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	健診結果に基づき、嘱託医やかかりつけ医との連携を図っている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-2-(3)

感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

判断基準		評価
Bに該当したうえで、次の全てに該当する。		A
<input checked="" type="checkbox"/>	登園停止基準や保育中に感染症等の疑いが生じた場合の対応がマニュアルに明記され、保護者に周知している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	保育中に発症した時は、保護者への連絡をすみやかにし、対応については保護者の事情も考慮している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	感染症が発生した時は、速やかに保護者に情報提供している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	感染症に関する最新情報を職員が共有している。	
B	感染症等への対応に関するマニュアルがある。	
C	感染症等への対応に関するマニュアルがなく、取り組みが不十分である。	

評価分類Ⅱ-2 [健康管理] 評価の理由(コメント)




評価理由(コメント)	評価
裸足・薄着の保育を心がけ、健康管理を適切に行っています	
「健康管理マニュアル」に、保健計画、子どもの健康管理、病気の知識などをまとめてファイルし、健康管理に活用しています。入園時、保護者に、「健康個人台帳」に既往症を記入してもらい、把握しています。子どもの既往症の対処法について、全体ミーティングで話し合い、共有しています。保育中に、発熱、下痢、嘔吐などの体調変化があった時は、保護者に様子を伝え、気になる場合は医療機関の受診を勧めています。食後の歯磨きは、2歳児クラスから始め、職員も一緒に磨き指導しています。6月の歯科健診後、歯科医と歯科衛生士が、虫歯や歯磨きの仕方を話し、歯磨きの紙芝居などを見せています。	
定期的に健康診断、歯科健診を実施し、健康状態を把握しています	
健康診断は、年2回5月と11月に、歯科健診は年1回6月に実施し、結果を健康診査表に記録しています。保護者には、「健康診断の結果」と「歯科健康診断結果のお知らせ」を配付しています。健診前、保護者に質問事項があれば記入してもらい、嘱託医の回答や関連情報を伝えています。健康診断の結果から、保育園で対応できることについて嘱託医助言や指導を受け、対応しています。健診日に休んだ子どもの保護者に、嘱託医で健診を受けるように勧めています。嘱託医には、感染症対応などについても相談できるように連携しています。	  
感染症等が発生した場合、素早く対応できるように準備しています	
感染症マニュアルを用意し、活用できるように管理しています。登園停止基準は、「入園のしおり」に記載し、保護者に説明するとともに、「登園届」、「登園許可証明書」を配付しています。緑区や横浜市から送付される地域の感染症情報は、ミーティングで全職員に周知しています。発生状況は、玄関に、病名・症状・登園の目安や日付け、人数など掲示するほか、口頭でも伝えるなど注意を促しています。職員は、感染症まん延予防や嘔吐物処理などの研修に参加し、知識や対応方法を修得しています。嘔吐物処理方法は、全体ミーティングで、定期的実践しています。	

[衛生管理]

評価項目Ⅱ-2-(4)

衛生管理が適切に行われているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/> Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルは、職員参加により定期的(内容により異なるが、最低年1回を目安)に見直しを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルの内容を全職員が共有するため、定期的(採用時に1回、採用後は最低年1回)に研修を実施するなど、具体策を講じている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルに基づき清掃等が行われ、清潔・適切な状態が保たれている。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 衛生管理に関するマニュアルがある。	
C	衛生管理に関するマニュアルがなく、取り組みが不十分である。	

評価分類Ⅱ-2 [衛生管理] 評価の理由(コメント)	評価
衛生管理の意識を高め、清潔で衛生的な環境の維持に取り組んでいます	  
衛生管理マニュアルに、掃除や消毒などの手順や方法を詳細に記載しています。保育園は、それに従って清掃や消毒を実施しています。マニュアルは定期的に見直し、変更箇所は、ミーティングで報告し、全職員が共有しています。感染症研修に参加し、全体ミーティングで勉強会を開いています。衛生管理講習会で、集団給食の衛生向上のために、食中毒防止の認識が必要なことを学んでいます。子どもと一緒に手洗い実験を行い、手洗いの重要性を認識しました。5歳児クラスで、手の甲の洗い残しが多いことに気づきました。新入職員に1対1で清掃の仕方を教えるなど、職員全員で清潔で衛生的な環境の維持に取り組んでいます。	

[安全管理]

評価項目Ⅱ-2-(5)

安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 地震等を想定し、備品等の転倒防止など安全対策を講じている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルは、事故や災害に適切に対応しており、全職員に周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急連絡体制が確立している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 通報や連絡体制の予行演習、地域の避難場所等への誘導などの訓練を実施している。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 職員が救急救命法を身につけている。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 安全管理に関するマニュアルがあり、Aの中で3つ以上該当する。	
C	安全管理に関するマニュアルがない。または、Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-2-(6)

事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者や救急機関、地域への連絡体制が確立している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どものケガについては、軽傷であっても必ず保護者に状況を報告し、記録している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員会議などで事故の報告、再発防止策の検討が行われ改善策が実行されている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-2-(7)

外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 不審者等の侵入防止策(出入り口の施錠等)が講じられている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 不審者等に対する緊急通報体制が確立されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 不審者の情報が関係機関、近隣住民等から得られるネットワークができています。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅱ-2 [安全管理] 評価の理由(コメント)

評価
安全管理マニュアルを備え、事故や災害に備えた安全対策が実施されています
「安全管理マニュアル」に従って、地震時の転倒防止対策として、家具の下に耐震ジェルを敷き、棚の上は滑り止めを取り付け、安全点検票で遊具などの安全を確認しています。「災害時緊急対応マニュアル」に、地震、火災、台風・大雨などが発生した際の対応を記載し、全体ミーティングで全職員に周知しています。震災時は、メール連絡網と災害用ブログで保護者へ迅速に連絡する仕組みを整え、年2回訓練を行っています。また、毎月、避難訓練を実施しています。普通救命講習を保育に携わる職員全員が受講しています。
事故発生時の対応体制を整え、再発防止策を検討し、実行しています
所轄の消防署のほか、近隣の医療機関など関係機関の緊急連絡先を、事務室の電話機の傍に掲示しています。保護者の緊急連絡先は、事務室で保管している個別ファイルで確認できます。子どものケガが軽傷であっても、昼ミーティングで全職員に伝え、保健日誌に記入しています。昼ミーティング後のケガも記録に残し、全職員が共有するようにしています。降園時、迎えの保護者にケガの部位と経緯を説明しています。再発防止策を検討し、実行したうえで、事故記録簿を作成しています。本部傘下の他の保育園での事故事例も、全職員に周知し、事故防止に生かしています。
不審者の侵入について、不安を払しょくする対策の検討が期待されます
入り口の扉は、保護者と職員しかわからない暗証番号式の鍵を取り付け、暗証番号は変更しています。保護者以外は、インターホンで対応し、訪問者の声、顔や姿を確認の上、開錠しています。「不審者侵入対応マニュアル」に沿って、年3回訓練を行っています。不審者侵入時の通報体制を掲示し、電話機の傍にいる職員、または、園長が通報します。不審者情報は、緑区こども家庭支援課や本部から伝えられ、近辺で見つかった場合は、保護者にメール連絡網で配信し、併せて、玄関に掲示します。今回の利用者家族調査の結果、問5-3「外部からの不審者侵入を防ぐ対策について」に、不安を感じている意見がみられました。不安を払しょくするためにさらなる対策の検討が期待されます。



評価分類Ⅱ-3 人権の尊重

評価項目Ⅱ-3-(1)

保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもに対して威圧的な言葉遣い、無視が行われないよう、職員間で相互に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> せかしたり強制したりせず、おだやかに分かりやすい言葉で話している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの気持ちや発言を受け入れられるよう配慮している。	
B	Aの中でいずれか2つ該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-3-(2)

必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 友だちや保育士の視線を意識せず過ごせる場所がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、子どもに威圧感を与えず一対一で話し合える場所がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、プライバシーを守れる場所を用意することができる。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-3-(3)

個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 守秘義務の意義や目的を全職員(ボランティア・実習生含む)に周知している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の取り扱いについてガイドラインをつくり、全職員に周知している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の取り扱いについて、保護者に説明し了解を得ている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報に関する記録は施錠できる場所に保管、管理している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-3-(4)





虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 虐待の定義が全職員に周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 虐待が明白になった場合に、関係機関に迅速に通告・相談する体制を整えている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 疑わしい場合にも関係機関との連携体制がとれている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭支援に必要な保護者を援助し、虐待の予防に配慮している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-3-(5)

性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 遊びや行事の役割、持ち物、服装などで性別による区別をしていない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 順番、グループ分け、整列など性別にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもや保護者に対して、父親・母親の役割を固定的にとらえた話し方、表現をしないようにしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 無意識に性差による固定観念で保育をしていないか、職員同士で反省する仕組みをつくっている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類Ⅱ-3 評価の理由(コメント)	評価
<p>子どもの人格尊重を意識した保育に取り組んでいます</p> <p>本部の人権研修のほか、園内研修によって、人格尊重の保育を実践しています。平素の対応についても、職員が互いにチェックし合い、気づきを生かしています。子どもの気持ちをしっかりと受け止め、子どもの立場になって話を聞くように心がけています。「～しようね。」などという優しい言葉かけを心がけ、否定ではなく、肯定的な言葉かけをするように全員に徹底しています。子どもの人格を辱めたり、自尊心を傷つけることのないように子どもに接するように全職員に指導しています。</p>	
<p>プライバシーが守られる空間の確保に努めています</p> <p>集団の中にいたくない時などは、子どもの気持ちを察して「事務室にくる？」など聞き、事務室で気持ちが落ち着くまでや、切り替えられるまで過ごせるように配慮しています。じっくり話をする時は、「お話しようね。」と声をかけ、事務室を有効に活用しています。限られたスペースの中で、状況に応じた対応を工夫しています。訪問調査の日、男の子が、事務室で過ごしていました。</p>	  
<p>個人情報保護や守秘義務、性差への対応を職員に徹底し遵守を求めています</p> <p>個人情報保護方針を策定し、明示しています。職員をはじめ、ボランティア、実習生には、誓約書を書いてもらい、遵守を確実にしています。保護者にも、入園説明会や入園式の時に個人情報の取り扱いについて話しています。個人情報に関わる記録は、事務室の施錠できる保管場所に保管・管理し、持ち出しを禁止しています。性差に関する対応も、園内研修で職員に徹底するとともに、実践しています。特に、片親の子どもに配慮して、「父親」や「母親」よりも「家庭」と言い表すように努めています。</p>	

評価分類Ⅱ－４ 保護者との交流・連携

評価項目Ⅱ－４－(1)

保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対しては、全体会または懇談会などで説明する機会を設けている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して、園独自のアンケートなどで保育方針が理解されているかどうか把握している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 日常保育の中で、園だよりや連絡帳などで保育方針が理解されるよう努力している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－４－(2)

個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの送迎時に、その日の子どもの様子を伝えるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 連絡帳やメールなどできめ細かに情報交換を実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者の意向を踏まえて個別面談を実施している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－４－(3)

保護者の相談に応じているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 相談内容などを人に聞かれないで相談できるよう、配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 相談を受けた職員が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制になっている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ－４－(4)

保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 「園だより」など定期的に発行している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園内に、その日の保育の様子を知らせる情報を掲示している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> クラスごとの保護者懇談会などで、保育内容・目的を分かりやすく説明し情報提供を図っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－４－(5)




保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 年間行事予定であらかじめ日時を知らせ、保護者が保育参加のための休暇等の予定を立てやすくしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育参観または保育参加を積極的に受け入れている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ－４－(6)

保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者が自主的な活動をできるように場所等の提供をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者の活動に要請があれば職員も参加をしている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅱ-4 評価の理由(コメント)	評価
<p>保護者との交流・連携が、積極的に行われています</p> <p>保育園の基本方針は、入園説明会で伝えるとともに、園のしおりにも載せています。また、園内にも掲示し、その実現を目指しています。個人面談や日常やり取りする連絡帳を通して、保護者とのコミュニケーションを密にし、連携がとれるように努めています。玄関のスケッチブックに、その日の活動や子どもの様子などを記載し、保護者に伝えています。クラス懇談会は年1回実施し、保育園の運営や子どもの様子を説明するとともに、保護者の質問に答えています。また、本部の家庭支援研修に参加するなど、相談を受けた職員が適切に応えられるように努力しています。</p>	
<p>子どもの園生活に関する情報が提供されています</p> <p>毎月発行する園だよりによって、クラスの1か月の様子や子どもの成長を伝えています。年2回ほど、特集号として各クラスの写真を掲載しています。個々には、連絡帳を活用しています。各クラスの保護者懇談会において、日ごろの様子を撮ったビデオを見たりしています。食事は、栄養士が対応し、要望などの内容によって園長が直接説明しています。</p>	  
<p>保護者の保育参加や自主的な活動への支援を行っています</p> <p>年間行事予定表を年度初めに配付し、保護者の保育参加を依頼しています。具体的な日程などは、園だよりやお知らせ(プリント)で詳しく伝えています。特に、お誕生日会で、給食も子どもと一緒に食べてもらい、楽しく過ごせるように工夫しています。都合で出席できなかった人には、DVDを貸し出すなど配慮しています。また、保護者から自主的な活動のため場所などを要請された場合、提供できるように準備しています。卒園アルバム作成時に保護者に協力してもらったり、保護者代表に年2回の運営委員会に出席してもらっています。</p>	

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類Ⅲ－1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供

評価項目Ⅲ－1－(1)

地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民との交流の中で、施設に対する要望を把握するための具体策を講じている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業を通じて把握している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて関係機関や他施設との検討会・研究会を行っている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅲ－1－(2)

地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の子育て支援ニーズについて、定期的(年に1回程度)に職員間で話し合われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域での子育てを支援するためのサービス(一時保育、交流保育、園庭開放等)を提供している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民に向けて子育てや保育に関する講習・研修会を開催している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅲ－1 評価の理由(コメント)

評価
地域の子育てニーズを把握して、支援事業計画を作成しています
<p>緑区みどりっこまつり実行委員会主催の「みどりっこまつり」(区内の未就学児を対象とする親子参加型の地域子育てイベント)に参加し、その際のアンケートなどから保育ニーズを把握しています。把握した子育て支援ニーズをもとに、支援担当職員が中心になって、育児講座、園行事、赤ちゃん会などを織り込んだ支援事業計画書を作成し、緑区に提出するとともに、実施しています。また、幼・保・小連携事業や近隣の保育園・幼稚園・本部傘下の保育園との交流を通して、情報を入手し、保育園内で検討会や勉強会を行っています。</p>
専門性を生かした子育て支援事業を計画的に実施しています
<p>把握した子育てニーズをもとに、支援担当職員を中心に話し合い、育児講座、園行事、赤ちゃん会などを織り込んだ支援事業計画を作成し、実施しています。一時保育や交流保育(年3回)、園庭開放(年12回)の案内を「みどりっこカレンダー」に掲載し、地域の子育て家庭に知らせています。園庭開放の際、園長や子育て支援担当職員が園庭で一緒に遊びながら、保護者の相談に応じています。近隣の老人ホームへ訪問し、交流しました。子育てに関する研修会として、園長による赤ちゃん会(赤ちゃんに関する様々な相談及び情報交換の会)を行い、新たな試みとして妊婦会(母親となる妊婦の抱える問題解決及び情報交換等の会)の構想を練っていました。年度末に総括を行い、実施報告書を作成しています。</p>



評価分類Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能

評価項目Ⅲ－２－(1)






地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報提供や育児相談を実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 育児相談については、定期的(最低週に1回)に相談日を設けて対応している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園からのお知らせを地域に回覧するなどして、情報提供に努めている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅲ－２－(2)

相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要な関係機関・地域の団体等をリスト化する等により情報を職員が共有している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 関係機関との連携の担当者が決められている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 関係機関・団体等との日常的な連携ができている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅲ－２ 評価の理由(コメント)		評価
地域住民への情報提供や育児相談が行われています		  
<p>「みどりっこカレンダー」に、保育園の情報と併せて、育児相談・赤ちゃん会の日程などが掲載され、保育園では、予定通り実施しています。育児相談の案内は、玄関に掲示しています。園庭開放時に、気軽に相談できるように週1回火曜日を設定しています。これらの事業を行う際、近隣の人に知らせるとともに、遅い時間に行うことや人が沢山来園し迷惑をかけることを掲示及び手紙のポスティングで説明しています。</p>		
相談内容により、関係機関と連携が取れるようにしています		 
<p>相談内容によって、関係機関や地域の団体などと連携が取れるように連絡先を把握し、一覧表を職員に周知しています。関係機関との連携は、主に園長・主任が担当しています。内容によって、本部と報告・連絡・相談を行い、対応しています。緑区こども家庭支援課をはじめ、北部児童相談所、北部地域療育センター、小学校、医療機関、消防署などと連携が取れるようにしています。</p>		

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類Ⅳ－1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ

評価項目Ⅳ－1－(1)

保育園に対する理解促進のための取り組みを行っているか。





判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 園の行事に地域住民を招待している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 自治会・町内会、ボランティアグループ等と協力して行事を行うなど、地域の団体、機関と定期的(年1回以上)、計画的に交流を図っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 小中高等学校など、学校教育との連携を積極的に図っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域への施設開放や備品等の貸し出しを行っている。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1～2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅳ－1－(2)

子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の文化・レクリエーション施設等を利用している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に地域の人達と接する機会(散歩・買い物等)に積極的に交流を図っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に他の園・学校・福祉施設等との交流を図っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類Ⅳ－1 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)	評価
<p>保育園に対する理解が得られるように、地域の人々に行事を知らせ、参加を呼びかけています</p> <p>地域における保育園の存在を理解してもらうために、秋祭り・運動会・クリスマス会など保育園の行事のポスターを玄関前や駅の掲示板に掲示したり、近隣へポスティングを行うなど、参加を呼びかけています。毎年、「みどりっこまつり」に参加し、保育園の情報を提供しています。施設開放の一環として、図書館の開放や車イス対応トイレの貸し出しを行っています。小学校との交流も行い、5歳児は近隣の小学校を訪ね、1年生と交流しています。また、2年生が保育園を訪問してくれます。近隣の人々とも、散歩の際や行った先で言葉を交わすなど交流を重ねています。</p>	  
<p>地域の資源を有効に活用し、また、日常的な交流により、子どもの生活を充実させています</p> <p>新治(にいほる)里山交流センターや旧奥津邸、十日市場地域ケアプラザ、霧が丘公園こどもきりっこランド、日々の散歩に利用する公園など地域の文化、レクリエーション施設を有効に活用しています。また、散歩や買い物を通して、地域の人々と交流を図っています。5歳児の学校訪問や他の保育園の子どもとの芋ほり、ブルーベリー摘みなど様々な交流を進め、子どもの生活を充実させています。</p>	

評価分類Ⅳ-2 サービス内容等に関する情報提供

評価項目Ⅳ-2-(1)

将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。



判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 園のパンフレット・広報誌・ホームページ等により、地域や関係機関に随時、情報を提供している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 外部の情報提供媒体に対して園の情報を提供している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅳ-2-(2)

利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 園の基本方針や利用条件・サービス内容等についての問い合わせに対しては、常時対応できるようになっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用希望者に見学ができることを案内している。	
B	保育に支障をきたさない範囲で、曜日や時間は見学希望者の都合に対応している。	
C	園の基本方針や利用条件・サービス内容等について、パンフレット等の資料や文書に基づいて説明している。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅳ-2 評価の理由(コメント)

評価の理由(コメント)		評価
利用希望者に向けて必要な情報を提供しています		
<p>見学希望者には、丁寧に対応し、パンフレットなどを活用しています。保育内容や料金、職員体制などの必要な情報は、パンフレットに記載し、提供しています。一時保育のパンフレットも用意し、利用料金や持参する物についてわかりやすく説明しています。子育て支援事業の情報は、毎月、緑区子育てひろば「みどりっこカレンダー」に掲載しています。</p>		
利用希望者の問い合わせ・見学への対応が、積極的に行われています		
<p>園のしおり、一時保育のしおり、パンフレットに、保育方針・目標をはじめ、開園時間、年間行事予定などの保育内容を記載しています。これらの資料は、見学者や一時保育利用者に配布しています。緑区内保育園の入所案内に、保育園の情報を提供し、随時見学可能なことを伝えています。見学希望者へは、保育園の保育に支障がない範囲で、希望者に就労事情や子どもの状況を踏まえた都合の良い日時を設定し、丁寧な案内や説明を行っています。</p>		

評価分類Ⅳ－3 ボランティア・実習の受け入れ

評価項目Ⅳ－3－(1)




ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/> Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 受け入れにあたり、あらかじめ職員や利用者にも基本的考え方・方針が理解されるよう説明している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受け入れと育成の担当者が決められており、受け入れ時の記録が整備されている。	
<input checked="" type="checkbox"/> ボランティアの感想や意見を園運営に反映させている。		
B	<input checked="" type="checkbox"/> 受け入れのためのマニュアル等があり、それに基づきボランティアに対して園の方針、利用者への配慮等を十分説明している。	
C	受け入れのためのマニュアル等がなく、取り組みが不十分である。	

評価項目Ⅳ－3－(2)

実習生の受け入れを適切に行っているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/> Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 受け入れにあたり、あらかじめ職員や利用者にも基本的な考え方・方針が理解されるよう説明している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受け入れのための担当者が決められており、受け入れ時の記録が整備されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 実習目的に応じた効果的な実習が行われるためにプログラム等を工夫している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 実習生と職員との意見交換の機会を設けている。		
B	<input checked="" type="checkbox"/> 受け入れのためのマニュアル等があり、それに基づき実習生に対して園の方針、利用者への配慮等を十分説明している。	
C	受け入れのためのマニュアル等がなく、取り組みが不十分である。	

評価分類Ⅳ－3 評価の理由(コメント)		評価
ボランティアの受け入れや育成が積極的に行われています		 
「ボランティア受け入れマニュアル」に従って、受け入れに対する方針などをあらかじめ職員に説明しています。ボランティアには、園のしおりを配付しています。守秘義務等の厳守を確実にするために、誓約書の提出を求めています。ボランティアの受け入れは、園長もしくは主任が務めます。「ボランティア活動日誌」に、保育園の行事などを手伝ったボランティアの感想や意見を記録し、今後の活動に反映できるようにしています。		
実習生の受け入れや育成が積極的に行われています		
「実習生受け入れマニュアル」に従って、受け入れに関する方針などをあらかじめ職員や利用者にも説明し、理解を深めています。受け入れは園長が行い、実習に入ってもらえるクラス担任が担当し、指導する仕組みを整えています。現状、実習希望者は少ないとみられ、今後、働きかけをさらに強めることが期待されます。		

評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

評価分類 V-1 職員の人材育成

評価項目 V-1-(1)

保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 園運営に十分な人材構成であるかをチェックし、必要な人材の補充を逐次行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園の理念・方針をふまえた保育を実施するよう、人材育成の計画が策定されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個々の職員の資質向上に向けた目標を毎年定め、達成度の評価が行われている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目 V-1-(2)




職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 内部研修が定期的の実施され、職員・非常勤職員とも必要な職員が必ず受講できる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園外の研修会、大会等への参加、他の福祉施設での実地研修等が積極的に行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 研修の成果を職場で活かすための工夫がされている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 研修の成果を評価して、研修内容を常に見直している。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の研修ニーズにも配慮し、研修担当者が研修計画を作成している。	
C	園としての研修計画を作成しておらず、取り組みが不十分である。	

評価項目 V-1-(3)

非常勤職員等にも日常の指導を行っているか

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務にあたっては職員と非常勤職員の組み合わせなどの配慮をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤職員に対し、職員と同様に資質向上への取り組みを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤職員の指導担当者が定められ職員間のコミュニケーションが図られている。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤職員にも業務マニュアルが配布されている。	
C	業務マニュアルもなく、取り組みが不十分である。	

評価分類 V-1 評価の理由(コメント)		評価
<p>理念や方針に適合した人材の育成に取り組んでいます</p> <p>保育園の運営に必要な人材の確保・育成は、本部が傘下の保育園の運営状況にもとに一元的に行っています。保育園も、採用に力を入れ、必要な人材の確保に努めています。本部は、「教育経営計画書」に基づいて人材の育成に取り組んでいます。職員一人一人の力量向上のため、「スタッフシート」を使って、年2回、自己評価、主任評価、園長評価をそれぞれ行い、その結果をもとに園長が個人面談で、指導・助言を行っています。</p>		  
<p>職員及び非常勤職員の多様な研修プログラムを用意し、実施しています</p> <p>本部が研修計画を作成し、経験年数や職階、職務に合わせた研修プログラムを用意しています。新卒、2年目、中堅、主任、リーダー、園長研修などを必修とし、スキルアップのための専門研修を用意しています。保育園は、横浜市や緑区主催の研修に、職員の希望に沿って参加させるほか、必要と考える研修の受講を促しています。こうした取り組みは、非常勤職員にも同じように適用しています。受講者は、研修結果を報告し、共有を図っています。「研修報告書」には、研修報告を聞いた職員の代表者が今後の業務に反映することを記載していました。</p>		
<p>非常勤職員の勤務に配慮しながら、情報の共有、育成に取り組んでいます</p> <p>常勤職員と非常勤職員を組み合わせ配置するように配慮しています。また、非常勤職員の勤務時間にも配慮しています。常勤職員と同様に、「教育経営計画書」をはじめ、マニュアルその他必要な文書や記録の参照、確認など周知・共有を徹底しています。給食会議や昼ミーティングにも参加し、保育に関わる知識や技術の向上に取り組んでいます。非常勤職員に対する指導や助言は、主任と栄養士が担当しています。</p>		

評価分類V-2 職員の技術の向上

評価項目V-2-1)

職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の振り返りや、保育所の自己評価を計画的に行う仕組みを持っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 工夫・改善した良いサービス事例をもとに、一層のサービス向上を目指した会議・勉強会が開かれている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて外部から保育の技術の評価・指導等を受ける仕組みがある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目V-2-2) ※新規項目

保育士等が保育や業務の計画および記録を通してみずいからの実践を振り返り、改善に努める仕組みがあるか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等一人一人が、自己の実践の振り返りをし、文章化できるように計画や記録の書式が定型化されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 振り返りは、計画で意図した保育のねらいと関連づけて行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 振り返りは、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの育ちや意欲、取り組む過程などを重視して行っている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等一人一人が振り返りを通して自己の実践を評価し、改善やその後の計画作成に反映させている。		
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目V-2-3) ※新規項目

保育士等の自己評価を踏まえ、保育園としての自己評価を行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等の振り返りの結果を互いに報告し合い、話し合っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等の振り返りの結果から、園としての課題を明らかにし、改善に取り組んでいる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育園としての自己評価は、園の理念や保育の方針、保育課程に沿って行われている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 保育園としての自己評価を公表している。		
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類V-2 評価の理由(コメント)




評価理由(コメント)	評価
職員のスキル段階に合わせ、計画的に保育技術の向上に取り組んでいます	A
職員一人一人が有するスキルの段階を、「スタッフシート」による自己評価などによって明確にし、保育園の自己評価につなげています。行事後のアンケートの結果をもとに、行事や保育の工夫・改善などについて話し合っています。園まわり研修で、本部から派遣された専門家や傘下の他の保育園から派遣された職員などから、保育技術に対する評価・指導を受けています。見学に参加した職員の研修報告をもとに、保育園の対応や取り組みを話し合い、改善に生かしています。	
自己評価などを通して、職員自ら改善に取り組んでいます	
職員は、年間指導計画をはじめ、月案・週案で立てた目標やねらいについて、活動中の子どもの様子をもとに自己評価を行い、未達成の項目について、改善に取り組んでいます。日々の保育で困ったことや悩んでいることを一人で抱えこまず、他の職員に助言を求めたり、解決策や改善策と一緒に考えるように、ミーティングなどの内部コミュニケーションの活用に取り組んでいます。様々な経験を重ね、自分の保育を確立することを目指しています。	
職員の自己評価を踏まえ、保育園の自己評価をまとめています	A
保育士の自己評価は、「スタッフシート」などを利用して行っています。こうした自己評価から課題を抽出し、園長との個人面談において話し合い、課題を共有しています。最近、課題として内部のコミュニケーションの不足があげられ、改善に取り組んでいます。コミュニケーションの不足をなくすためには、どうすれば良いかを検討し、改善に取り組んでいました。職員全員が保育園の理念や方針を理解しているかを確認するために、全体ミーティングや昼ミーティングにおいて小テストを行い、80点以上に達するまで繰り返しテストを行っています。年1回、本部が保護者アンケートを実施しています。このアンケートで保護者から寄せられた要望に対応していますが、これを苦情として捉え、対応することを今後の検討課題としていました。	

評価分類V-3 職員のモチベーションの維持

評価項目V-3-(1)

本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 経験・能力や習熟度に応じた役割が期待水準として明文化されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者の状況に応じ自主的に判断できるように、現場の職員に可能な限り権限を委譲し、責任を明確化している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員から業務改善の提案を募ったり、意見を聴取するためのアンケートなどを実施している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類V-3 評価の理由(コメント)		評価
適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めています		  
<p>職員に対する期待水準を本部が規定しています。期待水準に達するように、経験、職階・職務に応じた必修研修を設定しています。経験年数に加え、勤勉さや指導力などを踏まえた上で、リーダー、副主任、主任とステップアップします。「スタッフシート」に、職員に求める期待水準を明記しています。園長は、スタッフシートをもとに、職員と個人面談を行います。できなかったことができるようになり、モチベーションアップにつながっています。報告、連絡、相談を前提に、クラスの運営をクラス担任に任せています。最終的な責任は、園長がとることを明確にしています。</p>		
<p>職員アンケートを実施し、業務改善の提案や意見を記入できるように工夫しています</p> <p>職員の提案を募るため、本部が携帯電話でできるアンケートを実施しています。この職員満足度調査では、業務改善の提案や意見を自由に記入できるように工夫しています。集計結果は、本部がまとめ、経営幹部のアドバイスを加えて、各保育園にフィードバックしています。保育園では、改善することはすぐに改善し、活用しています。主任が経験の浅い職員とのコミュニケーションを深め、意見を聞いたり、保育の現場での悩みや改善の相談に応じています。園長は、日頃気軽に相談できるように声かけを多くするなどコミュニケーションに努めています。</p>		

評価領域VI 経営管理

評価分類VI-1 経営における社会的責任

評価項目VI-1-(1)

事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 組織及び職員が不正・不適切な行為を行わないよう守るべき法・規範・倫理等が明文化され職員に周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 経営、運営状況等の情報が積極的に公開されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他施設での不正、不適切な事案を題材とした研修を行い、それらの行為を行わないよう啓発している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-1-(2)

サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> ゴミ減量化・リサイクルのための取り組みを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 省エネルギーの促進・緑化の推進などの取り組みを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境への考え方、取り組みが明文化され、運営に活かされている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類VI-1 評価の理由(コメント)		評価
守るべき法・規範・倫理などを職員に周知し、遵守するように徹底しています		
職員が、不正・不適切な行為を行わないように遵守すべき法・規範・倫理などを入社前研修、園内研修やミーティングなどの機会に、周知し、遵守するように徹底しています。運営に関する情報は、ミーティングなどで職員に周知するとともに、保護者にも開示しています。本部の研修で他の施設の不具合事例が報告され、これを持ち帰り、ミーティングなどで同じような問題を起こさないように注意を喚起しています。		
ゴミの減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進等が行われています		
書類は、両面印刷を原則としています。個人情報などの掲載を選別したうえで、裏紙も利用しています。ゴミの減量化のため、プラゴミ、資源ゴミ、缶、ペット類は全てリサイクルに出しています。子どもに、床や公園でゴミ拾いを行うなど、エコに対する関心を引き出しています。牛乳パックは捨てずに、子どもが着替える時に座るイスや工作に利用しています。園庭やプランターに花を植えたり、野菜を作ったりして、緑化に努めています。残食が少なくなることや、嫌いなものでも少しずつ食べていけるようになることをねらいとして、バイキング形式を採用しています。		

評価分類VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等

評価項目VI-2-(1)

保育園の理念や基本方針等について職員に周知されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針を明文化したものを掲示または職員に配布している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員に朝礼・会議等で周知し、理解を促すための説明をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針を職員が理解できているか、園長・主任が定期的(採用時1回、採用後は最低年1回)に確認している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-2-(2)

重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な意思決定にあたり、園長は保護者と継続的に意見交換をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な意思決定(変更)について、職員及び保護者に目的・決定(変更)理由・経過等を十分に説明している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 異なる部門の職員による検討チームを編成し組織をあげて取り組むしくみがある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-2-(3)

主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> スーパーバイズのできる主任クラスを計画的に育成するプログラムがある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 主任が個々の職員の業務状況を把握できるしくみがあり、有効に機能している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 主任は個々の職員の能力や経験にあわせた確かな助言や指導を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 主任は個々の職員が精神的・肉体的に良好な状態で仕事に取り組めるよう、具体的な配慮を行っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類VI-2 評価の理由(コメント)

評価
職員に、保育園の理念や基本方針を周知し、理解を確認しています
「教育経営計画書」を全職員に配付し、本部の理念・方針を周知しています。保育園の方針・目標は、玄関や更衣室の扉に掲示し、保育に入る前、自分で読み、気持ちを持って保育に入るように心がけています。保育園の方針、目標などは、園のしおりにも載せ、保護者に伝えています。園長・主任が、定期的にミーティングや個別面談等を通して、職員の理解を確認しています。
重要な意思決定について、事前に職員や保護者から情報・意見を聞き、決定を説明しています
年1回、園長は保護者と個人面談を行っています。保護者代表が参加する運営委員会を年2回開催し、運営状況の説明とともに、意見交換を行い、意見や要望を聞いています。重要事項の変更に関して、職員全員が参加するミーティングにおいて検討するとともに、保護者に変更のねらいや概要を園だよりや懇談会などを利用して説明しています。
主任クラスの職員が、スーパーバイザーとしての役割を果たしています
本年度から、主任、リーダーなどの会議が本部で行われています。トップのサブとしての悩みやどうしたらよいかなどを同じ立場の職員が意見を出し合い、保育に生かせるようになっていきます。主任は、業務状況を把握し、日々のクラス配置を決め、フリーとなった職員の仕事を指示しています。園長との個人面談とは別に、主任やリーダーが職員と面談しています。保育で困っていることや悩んでいることなどについて、適切な助言や指導を行っています。新入職員には、主に主任が指導しています。配属されて間もない時期、主任と一緒にペアを組むなど1対1で指導・助言を密に行っています。

評価分類VI-3 効率的な運営

評価項目VI-3-(1)




外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業運営に影響のある情報を収集・分析している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な情報は幹部職員や主要な職員間で共有するため会議等で議論し、重点改善課題として設定されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営面での重要な改善課題について、職員に周知し、園全体の取り組みとしている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-3-(2)

保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 次代の組織運営に備え、運営やサービスプロセスの新たなしくみを常に検討している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 次代の施設運営に備え、幹部職員は計画的に後継者を育成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営に関し、外部の機関や専門家などの意見を取り入れる努力をしている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類VI-3 評価の理由(コメント)		評価
環境の変化に対応しながら、理念・方針の実現を目指し保育の実践に努めています		  
園長は緑区内の園長会や本部の園長会、その他セミナーや研修、地域交流などを通して、情報を収集しています。本部が算定したモデル保育園の見学や幼保小研修などを通して、情報を入手しています。重要な情報は、園長、主任、リーダーで検討し、全体ミーティングで話し合うなど全職員に周知しています。職員皆で話し合い、決めた改善策に徹底して取り組むようにしています。		
中・長期的な計画や目標を策定して、運営しています		
「教育経営計画書」に掲げた『自分の子どもを入れたい園』にすることを念頭に、計画を立てています。3年ごとに振り返り、実績を総括し、満足できる進捗と評価しています。現在、これを踏まえて次期計画を策定する途上でした。これまで計画の中心は、現状の保育の改善に置いてきました。今後、「教育経営計画書」に示されたビジョンと併せて、地域の環境の変化に目を向け、保育園の継続性の観点から、事業を展開する計画の検討が期待されます。		

利用者家族調査の結果

調査の概況

調査対象：2016年12月現在、在園の子どもの保護者世帯を対象としました。
 調査方法：2016年11月11日～2016年11月28日の間、アンケート方式で実施しました。保育園から保護者に対し予め第三者評価の目的について説明し、利用者調査票（保護者用）と評価機関作成の説明書を配布しました。保護者からは記入後評価機関へ直接郵送してもらい回収しました。利用者（保護者）総数61人、有効回答数51人、利用者総数に対する回答者割合83.6%

結果の特徴

回答者の総合的満足度は、「満足」が40人（78%）、「どちらかといえば満足」が11人（22%）、合わせると100%で、満足度の高い評価となりました。
 個別の質問には、37項目のうち8項目は、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせると100%でした。
 また、「満足」の割合が高かった項目は、問4-8「お子さんが給食を楽しんでいるか」が43人（84%）、次いで、問4-4「自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動」が42人（82%）、さらに問2-1「見学の受け入れ」と、問7-2「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか」が41人（80%）で、いずれも80%を越えました。
 一方、問6-4「送り迎えの際お子さんの様子に関する情報交換について」は「どちらかといえば不満」7人（14%）と「不満」2人（4%）、問5-3「外部からの不審者侵入を防ぐ対策」は「どちらかといえば不満」7人（14%）、「不満」1人（2%）でした。
 保育園に対する意見・要望には、「いつもおおらかに子どもを見守り、自由な発想のあそびをさせていただき、ありがとうございます！のびのびと生活できて、保育園が大好きな子になりました♡♡」との記述や「お迎えの時に、今日どんな様子だったかを少しでも教えてほしいです。先生によって差がありすぎる気がします。」との記述が見られました。

■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか（○は1つだけ）

よく知っている	まあ知っている	どちらかともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
14	30	5	2	0	0
27%	59%	10%	4%	0%	0%

「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」と答えた人のうち

1-2 その保育目標や保育方針は賛同できるか

賛同できる	まあ賛同できる	どちらかともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
40	4	0	0	0	0
91%	9%	0%	0%	0%	0%

■ 保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
2-1 見学の受け入れについては		41	7	0	0	3	0
		80%	14%	0%	0%	6%	0%
2-2 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	その他	・見学をしていないので、わからない。見学する前に入園申し込みをしてしまった。時間がなく、見学をしなかった。					
		33	17	1	0	0	0
		65%	33%	2%	0%	0%	0%
2-3 園の目標や方針についての説明には		27	24	0	0	0	0
		53%	47%	0%	0%	0%	0%
	その他						

2-4 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	36	15	0	0	0	0
	71%	29%	0%	0%	0%	0%
その他						
2-5 保育園での1日の過ごし方についての説明には	29	22	0	0	0	0
	57%	43%	0%	0%	0%	0%
その他						
2-6 費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	33	16	2	0	0	0
	65%	31%	4%	0%	0%	0%
その他						

問3 保育や行事の年間計画について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
3-1 年間の保育や行事のについての説明には	35	15	1	0	0	0	
	69%	29%	2%	0%	0%	0%	
その他							
3-2 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	29	17	0	0	4	1	
	57%	33%	0%	0%	8%	2%	
その他	・満足していたので、あまり要望した事がないです。まだ入園して1年目なので、活かされているかどうか分かりません。今年入園なので分かりません。						

問4 日常の保育内容について【遊び】		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
4-1 クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	38	13	0	0	0	0	
	75%	25%	0%	0%	0%	0%	
その他							
4-2 子どもが戸外遊びを十分しているかについては	38	12	1	0	0	0	
	75%	24%	2%	0%	0%	0%	
その他							
4-3 園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	39	11	0	0	1	0	
	76%	22%	0%	0%	2%	0%	
その他	・父が送迎をしていて、母は迎えのみであり室内に入る機会がないので、普段室内でどんなおもちゃであそんでいるかあまりわからない。						
78	22	42	8	1	0	0	
	82%	16%	2%	0%	0%	0%	
その他							
4-5 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	36	12	3	0	0	0	
	71%	24%	6%	0%	0%	0%	
その他							

4-6遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	33	16	1	0	1	0
	65%	31%	2%	0%	2%	0%
その他						

問4 日常の保育内容について【生活】について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
4-7 給食の献立内容については	40	11	0	0	0	0	
	78%	22%	0%	0%	0%	0%	
その他							
4-8 お子さんが給食を楽しんでいるかについては	43	6	1	0	1	0	
	84%	12%	2%	0%	2%	0%	
その他							
4-9 基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	35	15	1	0	0	0	
	69%	29%	2%	0%	0%	0%	
その他							
4-10 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	33	15	2	0	1	0	
	65%	29%	4%	0%	2%	0%	
その他	・どのような対応がされているか、説明を受けたことはありません。						
4-11 おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	29	15	1	0	5	1	
	57%	29%	2%	0%	10%	2%	
その他	・まだ始めていません。まだおむつはずしは始まっていないが、おむつ交換のときに便器にすわることに慣れさせてくれているので、ありがとうございます。現在、1才児クラスなので来年度から。まだ進めていないので分からず…。今子供がおむつはずせるタイミングであるか、よく分かりません。保育園とのタイミングに合わせたいが、子供が保育園での様子によって練習し始めたいと考えています。子供達一斉にはずすのではなく、柔軟に進めてほしい。						
4-12 お子さんの体調への気配りについては	34	15	2	0	0	0	
	67%	29%	4%	0%	0%	0%	
その他							
4-13 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	29	16	5	1	0	0	
	57%	31%	10%	2%	0%	0%	
その他							

問5 保育園の快適さや安全対策などについて		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
5-1 施設設備については		22	24	5	0	0	0
		43%	47%	10%	0%	0%	0%
	その他						
5-2 お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては		34	15	2	0	0	0
		67%	29%	4%	0%	0%	0%
	その他						
5-3 外部からの不審者侵入を防ぐ対策については		23	20	7	1	0	0
		45%	39%	14%	2%	0%	0%
	その他						
5-4 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については		34	14	3	0	0	0
		67%	27%	6%	0%	0%	0%
	その他						
問6 園と保護者との連携・交流について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
6-1 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については		18	29	2	0	2	0
		35%	57%	4%	0%	4%	0%
	その他	・参加したことない。					
6-2 園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については		39	12	0	0	0	0
		76%	24%	0%	0%	0%	0%
	その他						
6-3 園の行事の開催日や時間帯への配慮については		34	15	2	0	0	0
		67%	29%	4%	0%	0%	0%
	その他						
6-4 送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については		19	23	7	2	0	0
		37%	45%	14%	4%	0%	0%
	その他						
6-5 お子さんに関する重要な情報の連絡体制については		24	23	2	1	0	1
		47%	45%	4%	2%	0%	2%
	その他						
6-6 保護者からの相談事への対応には		30	18	1	0	1	1
		59%	35%	2%	0%	2%	2%
	その他	・相談事の内容による。					
6-7 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については		38	11	1	1	0	0
		75%	22%	2%	2%	0%	0%
	その他						

問7 職員の対応について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
7-1 あなたのお子さんが大切にされているかについては		37	14	0	0	0	0
		73%	27%	0%	0%	0%	0%
	その他						
7-2 あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては		41	10	0	0	0	0
		80%	20%	0%	0%	0%	0%
	その他						
7-3 アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については		22	16	0	0	12	1
		43%	31%	0%	0%	24%	2%
	その他	・どういった対応をされているか知らないです。分からない(他に2件)。具体的にどのような配慮がされているか分かりません。身近にいないので分かりません。アレルギーも障害も今のところないので、わからない。あまり気にしていないので、周りに馴染んでいて良いな—と思います。アレルギー、障害がないため。					
7-4 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては		32	18	1	0	0	0
		63%	35%	2%	0%	0%	0%
	その他						
7-5 意見や要望への対応については		29	19	0	0	2	2
		56%	37%	0%	0%	4%	4%
	その他	・内容によって異なる。					
問8 保育園の総合的評価について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	
総合満足度		40	11	0	0	0	
		78%	22%	0%	0%	0%	

問9 保育園への意見・要望など

【問1】 保育園の保育目標・保育方針について

- ・目標のうちの“育ち合う”という方針に強く共感しています。
- ・その子その子に合った保育になっていて、とてもいい目標です。
- ・幼児の時に身につけさせたい基本的なところをとらえているのでよい。

【問2】 入園する時の状況について

- ・園内や園庭も見せて頂き、色々質問させて頂きましたが、ていねいに答えて頂きました。
- ・入園の説明会(個別面談)が少しあわただしく終わってしまったので、もう少しゆっくりやりたかった。
- ・きまりで開園時はだめだった事が、今はその子に合わせて対応してくれていると思います。

【問3】 保育や行事の年間計画について

- ・沢山の行事を入れて頂き、子供達の楽しみや達成感を感じる事ができていて感謝しています。
- ・遠足が2年連続で雨天中止になっており、日程調整をしてできるようにしてもらえると良い。
- ・イベント時、親が手伝える事が他の園より少なく、非常に助かっています。

【問4 遊び】 日常の保育内容について

- ・おもちゃの片付けも元の場所に写真もあり、しっかり片付けもしているので良いと思います
- ・2才児クラスで保育参観した際、大きめのビーズを太めのひもに通して子供達は遊んでいました。それをネックレスのようにむすんで、と先生に言ってみんなむすんでもらっていました。たくさん子供がいると、目がとどかず、首がしまったりしないかとちょっと不安でした。
- ・園でやっている手遊びや体操、ダンス等が大好きで家でもよく見せてくれます。

【問4 生活】 日常の保育内容について

- ・色々な工夫された献立で、満足している。家でも参考にさせてもらっている。
- ・細かく声かけしてくださっていてうれしいです。
- ・保育園でパンツなのは知っていますが、家での様子など先生にはあまり伝えていないので、家庭と協力してといった感じはありません。

【問5】 保育園の快適さや安全対策などについて

- ・木目調の家具や床で、落ち着く良い雰囲気だと思う。
- ・セキュリティのある出入口は1つしかないのも、そこを入れたらアウト。人が入ってきても職員室が無反応のときもある。
- ・感染症の園児が出た際掲示物があり、分かりやすく注意もしやすい。

【問6】 園と保護者との連携・交流について

- ・保護者懇談会の機会がほとんどない。個別面談は丁寧で満足しています。
- ・毎日玄関にその日に行った事などを書いて下さり、とてもいねいに関心しています。
- ・おむかえ時、その日、1日子どもと関わっていない先生に子どもが連れられてくると十分話が聞けない。仕方ない時もあるが…。

【問7】 職員の対応について

- ・家でも先生の名前がよく出てきて、嬉しそうに話しているのでとても大切に保育して下さってらると思います。
- ・楽しい事、怒られる事、しっかり自覚して話してくれます。
- ・若い先生には少し話づらい。遠慮してしまう部分がある。

【保育園への意見や要望など】

- ・相談事も親身になって聞いて下さり、大変満足しています。子供自身も先生方のことは信頼しているようで安心して預けることができます。
- ・どの先生もいつも笑顔で接してくれるので話しやすいです。自分のクラスの子だけでなく、他のクラスの先生も子ども一人一人の名前を覚えて呼んでくれるので嬉しい。
- ・いつもおおらかに子どもを見守り、自由な発想のあそびをさせていただき、ありがとうございます！のびのびと生活できて、保育園が大好きな子になりました。
- ・お迎えの時に、今日どんな様子だったかを少しでも教えてほしいです。先生によって差がありすぎる気がします。

■ 保育園に通っていることについて(保育園に2人以上通っている場合は、下のこども)

0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	5歳児クラス
3	12	12	10	7	7	7
5%	21%	21%	17%	12%	#REF!	12%

利用者本人調査の結果

調査の概況
<p>調査対象: 2017年1月17日。聞き取りは登園した子ども6人を対象とし、保育状況の観察は0歳児から5歳児までの各クラスを対象としました。</p> <p>調査方法: 訪問調査の日(1月16日(月)終日、17日(火)午後)、聞き取り及び観察方式で実施しました。聞き取りは、3～5歳児のうち、それぞれ2人の子どもの計6人と面談して行いました。また、評価調査者2人が、それぞれのクラスを訪問し、保育状況を観察し、併せて評価調査者 1人が、近くのだんご山公園までの散歩に同行し、行き帰りや行く先での子どもの動きや表情を観察しました。</p>
保育の様子・こどもの様子等結果の特徴
0歳児組
<p>本年度初め、3人でスタートし、その後3人が入園し、現在6人が在籍しています。月齢差があり、座ることができるようになった子ども、つかまり立ちができるようになった子ども、歩き回っている子ども、それぞれです。職員は、絶えず子どもの様子を見ながら、子どもの欲求に応じて、絵本を読んだり、マラカスで遊んだり、子ども同士が関わられるような言葉かけをしたりしていました。一つのおもちゃの周りに集まり、顔を見合せて意識している様子も見られました。おやつを食べた後、1歳児、2歳児クラスの子どもと一緒に近くのだんご山公園に散歩に出かけました。シャボン玉を職員が吹くと、1歳児、2歳児クラスの子どもに混じって、とことこと嬉しそうに追いかける子どももいました。月齢の低い子どもは、砂をいじって、その感触を確かめるような不思議な表情をしながら、夢中になっていました。行き帰りはバギーに乗って、職員と歌を歌ったり、見かけた猫のお話をして、楽しそうでした。</p>
1歳児組
<p>2歳児クラスの子どもと手をつないで、だんご山公園に行きました。0歳児クラスの子どもも一緒です。公園は広々として、滑り台などの遊具がありました。近くに雑木林もあり、自然を感じることができます。職員に援助されながら、遊具の少し高い所に登ったり、滑り台を滑ったり、追いかけてこを楽しくしていました。遊具の影に小さな虫を見つけ、「むし、むし」と言うと、他の子どもも寄ってきて一緒に虫の動きを見ていました。小さな枝を見つけてきて、「せんろだよ。えき。」と言いながら、地面に長い線路と駅を描いています。「まる」と言いながら渦巻きを描くと、他の子どもも描き始め、渦巻きで一杯になりました。沢山動いた後は、麦茶を飲んで一休みしました。週案のねらいに、「手や顔が汚れたら保育者に知らせて拭いてもらう。冬の自然を見たり感じたりする。」と記していました。鼻水が出ると、「せんせい、はなみず。」と伝え、拭いてもらっていました。</p>
2歳児組
<p>登園して朝の会が始まる前は、園庭で遊びます。職員の掛け声で準備体操をして、マラソンです。いつも3歳児クラス以上がやっている園庭マラソンに、進級時期が近付いた2歳児も徐々に加わっています。ゆっくりゆっくり走って体を温めます。マラソンが終ると、砂場で山を作ったり、タイヤとびをしたり、それぞれ好きな遊びを始めます。砂場で、5歳児が作ったトンネルを一部誤って崩してしまい、緊張が走りました。5歳児は再び砂を固めて穴を掘り始め、2歳児も同じ場所で遊び続ける様子が見られました。職員は子どもの様子を見ながら対応しています。0歳児、1歳児とのだんご山公園への散歩から帰って、トイレと手洗いを済ませて、給食です。メニューは、さばのカレー揚げ、ひじきの五目煮、大根の味噌汁、ふりかけご飯です。ほとんど会話が無く、夢中になって食べています。一通り食べ終わって次々にお代わりをします。お代わりをするころになると、新幹線に乗った話、好きなキャラクター、おうちの話でにぎやかになりました。給食がおいしくて大好きなことが伝わってきました。</p>

3歳児組

他のクラスと同様に発表会の練習を行っていました。初日は、5歳児のぐんぐんクラスが見つめているためか、少し緊張気味でしたが、楽しそうに練習する雰囲気が伝わってきました。初めてのダンス練習では、保育者の振り付けを真剣に見て真似をする姿が見られました。二日目は、年長のクラスの劇を見て、「すごい」、「上手だね。」と、友だちと話しながらじっと真剣に観ていました。子どもとの聞き取りでは、「友達がたくさんいて楽しい。食事もおいしい。」と、話してくれました。二人とも、兄弟(姉妹)と祖父祖母と一緒に暮らす多人数家族の子どもでしたが、保育園に家とは違う雰囲気を味わっているようでした。

4歳児組

訪問調査初日は、初めて舞台上上がって劇の練習をしていました。舞台上上がることを楽しみにして、大きな声でセリフを言っている姿を見ることができました。クラス担任は、子どもが舞台上での動きを覚え、楽しく演じることができるように毎日練習していきたいと話してくれました。二日目の練習は、幼児クラスが順番に観客となって見つめる中、ステージ上で劇の練習が行われていました。見られていることを意識してか、恥ずかしがる雰囲気も感じられましたが、それぞれ自分の役割を果たしていました。練習後、だんご山公園へ散歩に出かけ、思い思いに体を動かしていました。聞き取りでは、年長クラスの意識が徐々に芽生え、また、小さな子の面倒を見て行く姿勢が育まれてきている様子を感じられました。

5歳児組

最年長クラスの雰囲気を感じる事ができました。初日の発表会の練習では、まだ、歌詞が覚えきれていないということで、歌の練習を行っていました。「大きな声で、ゆっくりと。」と、職員の指導を受け、それに従って、子どもが一生懸命取り組んでいる姿が見られました。二日目は、発表会の練習後、だんご山に登りました。山では、てんとう虫を見つけたり、自然に触れながら頂上を目指しました。頂上で、追いかっこや笹の葉っぱで遊んでいました。聞き取りでは、子どもが、最年長クラスの一人として、それぞれリーダーシップを発揮しうることがうかがえ、最年長クラスの雰囲気が感じられました。